

「津波からにげる」の内容 その1

※「津波からにげる」の記載は平成24年4月当時の内容を一部加筆修正したものです。

- 津波から命を守るため、「迅速かつ自主的に避難するという意識の向上」、「避難のために必要な津波の正しい知識の獲得」、「日頃から津波に備えることの大切さを学ぶこと」を目的に、小学生以上を対象に学校の授業等で活用を期待して作成しました。
- 本編は、3分～5分程度の4つのパートで構成しており、全体を連続で視聴するほかに、学級活動等の短い時間や、授業の振り返りなどで繰り返し視聴するといった場面でも活用できます。

① アニメーション（約5分）及び ② 避難した方々のインタビュー（約4分）

アニメーション



東日本大震災における岩手県釜石市立鶴住居小学校の子どもたちが、避難先を何度も替えながら津波からにげた様子をアニメーションで再現。自分たちと同世代の避難の様子が描かれることで自分達のこととして受け入れやすく、更に、アニメーションとしたことでわかりやすく、子どものうちから継続的に津波避難等について学ぶことができる内容としました。

また、実際に避難した先生や子ども達のインタビューを交えながら「津波からどのようににげたらよいのか」を伝える内容もまとめています。

インタビュー



「津波からにげる」の内容 その2

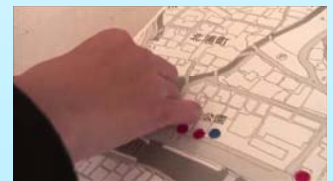
③ 津波クイズ（約4分）



津波に関する基礎的な知識を4つのクイズとして出題。回答は映像を交えて解説し、難解となりがちな内容を楽しみながら学ぶことができます。

④ 防災マップを作ろう（約3分）

日ごろからの備えも重要です。「防災マップを作ろう」では、三重県尾鷲市立宮之上小学校で取組まれた防災マップの作成の事例を紹介。子ども達が町に出て、危険な場所を調べたり、調べた結果を地図上に示していく経過を紹介しています。



●解説編（本編と同じ約17分）及び資料映像

ビデオがどのような内容か確認する際の参考としての「解説編」や、津波と普通の波の違い、避難訓練の取組みの様子などの映像を収録。事前の参考や個別説明の資料として活用されることを期待しています。



解説編



普通の波と津波の違いを見てみよう!

津波と波の違い



避難訓練